

平成 29 年度第 11 回安塚区地域協議会次第

日時：平成 30 年 3 月 20 日（火）

午後 6 時 30 分から

場所：安塚区総合事務所 3 階 301 会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 協 議

- (1) 地域活動支援事業活動報告会のまとめについて 資料 No. 1
- (2) 自主的審議事項「地域活動における人員不足について」 資料 No. 2
- (3) 安塚区地域協議会としての審議内容について

4 報 告

5 その他

・次回以降の開催

平成 30 年 4 月 日（ ）午後 時 分 開会

平成 30 年 5 月 日（ ）午後 時 分 開会

※地域活動支援事業プレゼンテーション及び審査

平成 29 年度地域活動支援事業活動報告会のまとめについて

1 実施結果

期 日：平成 30 年 3 月 3 日（土）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

会 場：安塚コミュニティプラザ 3 階大会議室

参加者： 33 人

（一般参加者 10 人、報告者 12 人、報道 1 人、協議会委員 10 人）

2 報告実績

- ①ウォーキングと郷土の自然・史跡探訪推進事業（安塚自然友の会）…質疑 2 件
 - ・旧三国街道の名称が、正しくは松之山街道であると説明があったが、最初から分からなかったのか。
 - ・看板等を旧三国街道から松之山街道に直したいとあったが、地元の人には旧三国街道という名称に慣れ親しんでいるため、そのままでもよい気がする。
- ②安塚区高齢者いきいき活動推進事業（安塚区老人クラブ連合会）…質疑なし
- ③自主防災資材の整備事業（安塚町内会）…質疑なし
- ④横尾義智記念公園管理事業（行野自治会）…質疑 1 件
 - ・横尾義智記念館の年間来場者数はどれくらいか。
- ⑤安塚商工会青年部地域活性化事業（安塚商工会青年部）…質疑 1 件
 - ・今回整備した物品を地域のイベント等で貸していただくことは可能か。
- ⑥健康・仲間づくりのスポーツサロン事業（やすづかスポーツクラブ）…質疑なし
- ⑦安塚リバーサイドロード魅力アップ事業（直峰町内会）…質疑なし
- ⑧直峰城跡登山道木製階段補修事業（直峰城跡保存会）…質疑 2 件
 - ・今回、当事業を活用して登山道を補修したが、これまでの補修の際の資金はどうしていたのか。また、風間祭の参加者は年々減ってきており、盛り上がりは少なくなってきたように感じるが、今後はどのようにしていく予定か。
 - ・地域活動支援事業は、活動にかかる人件費は対象外であるが、活動に参加した人への人件費はどのようにしているか。また、事務局に対してだが、活動にかかる人件費も当事業の対象となるようできないか。
- ⑨沼木の里づくり推進事業（朴の木自治会）…質疑 1 件
 - ・今回、小学生から棚田カフェやヤナギバひまわりの植栽を手伝ってもらっていたが、今後の関わり方はどのような予定か。
- ⑩安塚 jr アルペンスキークラブ育成事業（安塚スキークラブ）…質疑なし

3 実施方法における改善点等について

第10回安塚区地域協議会で出た意見等について

1 人員不足を解決するための手段・方法

資料No. 2-2 のとおり

2 今後、地域の課題や活力向上のための議論をする上で参考となる意見を抜粋して紹介

○集落内の取組に関すること

- ・今、地域で中心となって活動している人たちは、60、70代の方が中心であり、その後を引き継ぐ人たちが少ない。集落によっては若い世代がいるが、次の世代に受け継ぐ体制ができていないので、次の世代に受け継ぐ体制を構築する必要がある。

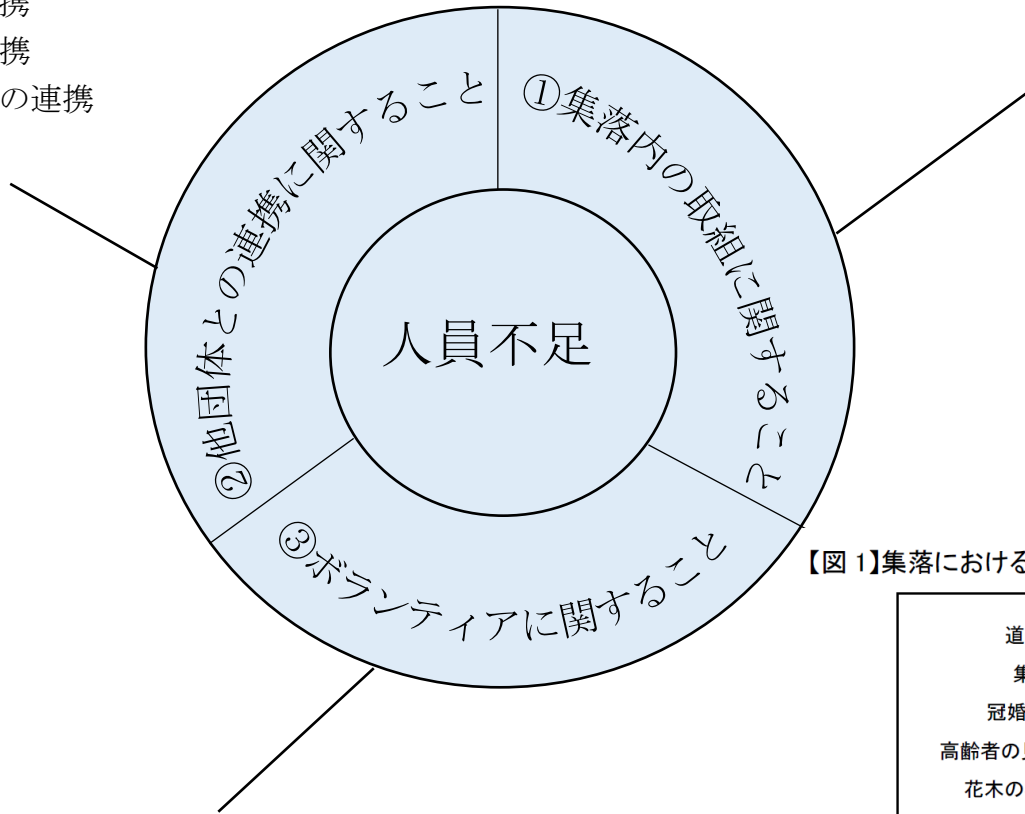
○地域の魅力増進について

- ・積極的にボランティアを募集しなくても、自然とボランティアが集まるような魅力ある地域づくりをする必要がある。
- ・柏崎市荻ノ島集落は大学生を受け入れているが、大学生は何かイベントがあるから来るのではなく、自分の第2の故郷のように自由に行き来しているようであった。地域のイベントに対して魅力を感じてもらうのも1つであるが、その地域自体に対して、魅力を感じてもらわなければならないと感じた。
- ・安塚区の現状としては、今後、今の状態を維持していくことが難しい集落が多い。今の状態を維持していくためには、ボランティアを受け入れて、ボランティアと親密になり、柏崎市荻ノ島集落のように新しい人が入って来てもらう集落を目指すことが大事である。

自主的審議事項「地域活動における人員不足について」

手段・方法

- ・ NPO雪のふるさと安塚との連携
- ・ 大学や企業との連携
- ・ 区内の学校との連携
- ・ 区内の各種団体との連携
- ・ 地域同士の連携



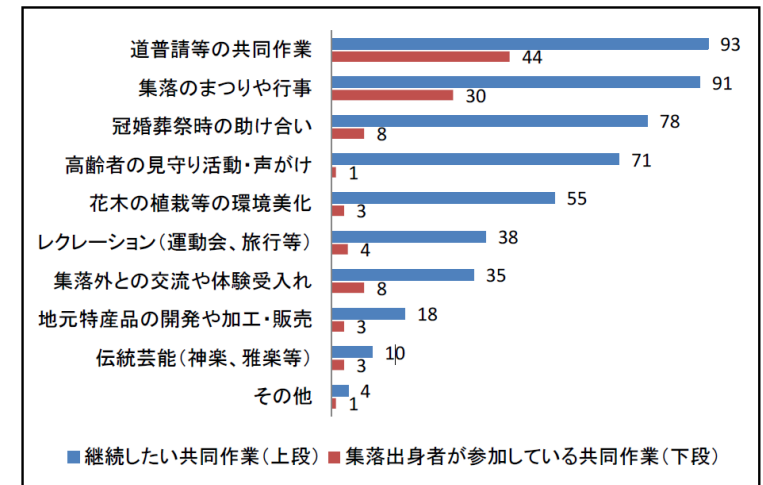
手段・方法

- ・ 行事の縮小
- ・ リーダーの育成
- ・ 次の世代への引継ぎ
- ・ 集落の魅力アップ
- ・ 縁故関係への協力依頼
- ・ 集落出身者への協力依頼

手段・方法

- ・ ボランティアとの継続した関係性の構築
- ・ ボランティアの依頼先の検討
- ・ ボランティアにとっての楽しみの必要性の検討
- ・ 情報発信の方法
- ・ 受け皿の必要性
- ・ 地域の受入体制の構築

【図1】集落における活動について「継続したい共同作業と集落出身者の参加状況」



平成30年度安塚区地域協議会活動スケジュール(案)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域協議会				地域協議会 だより発行 (7/1)	視察研修(10月)審議等				地域活動 フォーラム	地域協議会 だより発行 (1/15)		
						意見交換会(11月)審議等						
						大浦安地域協議会委員研修会(12月)審議等						
地域活動支援事業	募集・審査		配分額余れば、 追加募集・審査		反省、課題点 等協議		必要であれば、採択方針等を協議			次年度の採択 方針等決定		活動報告会 の開催
自主的審議事項 「地域活動における 人員不足について」	項目②「他団 体との連携に 関すること」協議		項目③「ボラン ティアに関す ること」協議	・協議のまとめ ※必要に応じて、 ①委員個々の調査活動 ②事務局による情報収集 ③先進地への視察研修 ④委員研修(関係課又は外部講師の招集) ⑤分科会や小委員会の開催				意見交換会に おいて、解決策 案を提示	実施主体により、解決策を実行			